

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって一つとされ、共に主を礼拝いたしましょう。

## 風の吹くままに

先週、私は58歳になりました。まだまだ若いですね、という声が聞こえてくるようです。それはそうです、年の差は縮まりませんから。本当に若い時は、年が上に見られることが嬉しかったのですが、今は、若く見られることが嬉しくなりました。

40歳の時にホノルル教会に赴任して、今に至ります。子供たちを見ると、時が経ったのを実感します。今年は、れいが58個のプルメリアの花ビラでレイを作ってくれました。こうして夫婦で、家族で、皆さんに、誕生日をお祝いしてもらえた、この恵みに感謝しかありません。

最近、夫婦で早朝サーフィンに行くことが多くなりました。まだ太陽が昇る前に、夜が明け始めたころに海に入ります。波に乗れた時の快感は、言葉で表現できません。

神の時は、波のようにやってきます。その波を忍耐をもって待ち、波がきたらしっかりと乗り、主の導かれるところへ行きたいと願います。  
関真士牧師

当教会は、正統的なプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一教会とは一切関係がありません。カルトや宗教問題でお困りの方はご相談ください。

## 2022年度聖句

あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。ピリピ人への手紙 4章4節

# 週報

2022年9月18日 Vol.19 No.38



HON I  
ホノルル・キリスト教会

2207 OAHU AVENUE HONOLULU, HI 96822

日本語部オフィス 973-4335

事務局 office@honoluluchristian.church

関真士牧師 sekishinji89@gmail.com



←教会 HP



オンライン献金→

2022年9月18日

礼拝開始5分前からは、心を静める時間です。他の方の祈り、  
黙想の妨げにならぬよう席に着きましょう。

— 報 Announcement 告 —

前奏 賛美 挨拶  
Overture & Worship & Welcome

「ただ一つの願い」

「私たちは、一つ」

「鹿のように」

「わがすべての主」

献金  
Offering

祈祷  
Prayer

宣教支援献金

聖書朗読  
Scripture 出エジプト 33:7—11 ヨハネ 4:21—24

メッセージ 「Quality Time with Jesus」 マーク今村氏

賛美  
Worship Song 「聴け我らの賛美を」

頌栄 祝福  
Doxology Benediction

讃美画 肥田仁司

- ✠ 会堂礼拝は、朝8時45分から始まります。オンライン礼拝も継続して配信しています。
- ✠ 本日の礼拝では、宣教支援献金、讃美画があります。
- ✠ 10月21日（金）教会リトリートの案内、受付が始まっています。礼拝受付でも、教会ウェブからも申し込みができます。是非参加しましょう。
- ✠ マウカハウスの、今後の利用計画について、主にあって最善の計画に導かれますように、お祈りください。
- ✠ 来週から、3回続けて、詩篇23篇からメッセージが語られます。
- ✠ 礼拝後の分かち合いのクラス、初心者クラスがあります。どなたでもご参加ください。
- ✠ 祈祷会 水曜日、ZOOM-祈祷会 10:00am
- ✠ 教会ウィークリーニュースは、毎月曜日に配信されます。メールをチェックしてください。ニュースが届かない場合は、ウェブページからご覧ください。パスワードは、HCC2021。

●スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れよう。

●今日のメッセージ 「Quality Time with Jesus」 出エジプト 33 : 7—11 ヨハネ 4 : 21—24

メッセージ マーク今村氏

次週のメッセージ 「詩篇 23 編① 乏しいことはない」 関真士牧師

●分かち合いのポイント

●賛美の御言葉 詩篇 66 篇 1、2、4 節 Psalm

全地よ、神に向かって喜び叫べ。御名の栄光をほめ歌い。神の誉れに栄光を帰せよ。全地は、あなたを伏し拝みます。あなたをほめ歌い、あなたの御名をほめ歌います。

Shout for joy to God, all the earth; sing the glory of his name; give to him glorious praise!

All the earth worships you and sings praises to you; they sing praises to your name.

**出エジプト記 33章 7～11節** さて、モーセはいつも天幕を取り、自分のためにこれを宿営の外の、宿営から離れたところに張り、そして、これを会見の天幕と呼んでいた。だれでも主に伺いを立てる者は、宿営の外にある会見の天幕に行くのを常としていた。モーセがこの天幕に出て行くときは、民はみな立ち上がり、それぞれ自分の天幕の入り口に立って、モーセが天幕に入るまで彼を見守った。モーセがその天幕に入ると、雲の柱が降りて来て、天幕の入り口に立った。こうして主はモーセと語られた。雲の柱が天幕の入り口に立つのを見ると、民はみな立ち上がって、それぞれ自分の天幕の入り口で伏し拝んだ。主は、人が自分の友と語るように、顔と顔を合わせてモーセと語られた。モーセが宿営に帰るとき、彼の従者でヌンの子ヨシュアという若者が天幕から離れないでいた。

**Exodus 33:7-11** <sup>7</sup> Now Moses used to take the tent and pitch it outside the camp, far off from the camp, and he called it the tent of meeting. And everyone who sought the LORD would go out to the tent of meeting, which was outside the camp. <sup>8</sup> Whenever Moses went out to the tent, all the people would rise up, and each would stand at his tent door, and watch Moses until he had gone into the tent. <sup>9</sup> When Moses entered the tent, the pillar of cloud would descend and stand at the entrance of the tent, and the LORD would speak with Moses. <sup>10</sup> And when all the people saw the pillar of cloud standing at the entrance of the tent, all the people would rise up and worship, each at his tent door. <sup>11</sup> Thus the LORD used to speak to Moses face to face, as a man speaks to his friend. When Moses turned again into the camp, his assistant Joshua the son of Nun, a young man, would not depart from the tent.

**ヨハネの福音書 4章 21～24節** イエスは彼女に言われた。「女の人よ、わたしを信じなさい。この山でもなく、エルサレムでもないところで、あなたがたが父を礼拝する時が来ます。救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。しかし、まことの礼拝者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。」

**John 4:21-24** <sup>21</sup> Jesus said to her, "Woman, believe me, the hour is coming when neither on this mountain nor in Jerusalem will you worship the Father. <sup>22</sup> You worship what you do not know; we worship what we know, for salvation is from the Jews. <sup>23</sup> But the hour is coming, and is now here, when the true worshipers will worship the Father in spirit and truth, for the Father is seeking such people to worship him. <sup>24</sup> God is spirit, and those who worship him must worship in spirit and truth."